

研究種別	総理研課題	
研究課題名	山梨の自然環境を活かした水稻高品質栽培法の開発	
研究期間	令和 3 年度 ~ 令和 5 年度	
	評価項目	平均点
1	研究計画の進捗度	3.3
[評価所見]		
<p>ほぼ計画通りに研究が進捗している。</p> <p>ケイ酸肥料の施用効果と量の適正值を見える化することは重要な視点である。天然のケイ酸供給量は、既存文献（県内の温泉、ミネラルウォーターなど）を活用し、全県的なケイ酸量のパターン把握ができないか検討してほしい。また、ケイ酸肥料の効果についても、文献を調べて研究を効率的に進めて欲しい。</p> <p>稲作農家の高齢化が進んでいることもあり、出来るだけわかりやすい形で成果を提示し、農家の視点から効果的な情報発信・活用方法を提案されるよう期待する。</p> <p>今後の計画において、自然界のケイ酸の下限値を求め、そこでの効果的なケイ酸肥料の施用を考えるようにすると良いと思います。</p>		